



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社

コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 章子

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 佐藤 貢一

TEL 03-3668-6811

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,589	3.1	563	4.0	633	2.6	371	108.5
23年3月期第2四半期	8,332	△2.5	541	2.2	616	6.7	178	△47.4

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 347百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △84百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.37	—
23年3月期第2四半期	2.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	19,518		14,516		74.4
23年3月期	19,940		14,348		72.0

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 14,516百万円 23年3月期 14,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
24年3月期	—	1.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	0.8	950	△3.8	1,050	△3.5	550	135.6	7.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(その他)」に関する事項を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	69,774,401 株	23年3月期	69,774,401 株
24年3月期2Q	811,037 株	23年3月期	561,037 株
24年3月期2Q	69,130,031 株	23年3月期2Q	69,214,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における我が国経済は、東日本大震災の影響や電力の供給不足から生産調整等が行われるなか、生産の回復や商品供給が改善され、復興需要も寄与したものの、欧州の金融財政不安や円高の進行による景気後退が懸念され、先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましても、震災後の復興・景気回復に中長期的見通しが立たない不安から消費者の購買意欲の減退や原材料高を受けた価格の上昇などにより市場環境は厳しい状況で推移しました。

さらに、震災後の食品の安全性確保に新しい対策と変更が必要とされるなど、食品業界全体でなお一層厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客様に支持される「安全・安心・信頼」の商品づくりに取り組み、ウスター・中濃・とんかつソースへのより一層のお客様の需要の喚起、売上の拡大を図ってまいりました。

また、食育支援の取組みの一環として、もんじゃ焼とお好み焼の親子料理教室を全国各地で開催しました。さらに、9月に、当社鳩ヶ谷工場及び館林工場にて地域社会とのコミュニケーションを深めることを目的としてイベント「ふれあい会」を開催し、ソースを使ったメニューの試食や料理教室・工場見学を実施するなどCSR活動に積極的に取り組んでまいりました。

そのほか、徹底した合理化・効率化を推進し、当社グループのシナジー効果をさらに高めるとともに、競争力のある企業グループを目指してまいりました。

当社グループのソース類事業における家庭用商品につきましては、震災後に消費者の内食化傾向が強まり、ウスター、中濃、とんかつソースの主力商品を中心に売上が堅調に推移しました。ブルドックソースでは、おうちで本格お好み焼屋さん（お好み焼ソース）や月島もんじゃ焼材料セットの試食販売等を店頭で集中的に行い消費拡大の販売活動を展開しました。8月に、唐揚げやサラダなど幅広いメニューに使える汎用ソース「ブルドック ねぎとしょうがのソース170g」「ブルドック 黒酢あんのソース170g」を発売し、姉妹品の「同レモンのソース170g」等と併せ、品揃えを強化しました。

また、秋冬の野菜を美味しく味わえる鍋スープ「大根じゃぶ鍋スープ600g」「芋煮鍋スープ600g」「きのこづくし鍋スープ600g」「ねぎじゃぶ鍋スープ600g」を発売しました。

業務用商品では、業務用として、炒めても和えても使える「ブルドック 業務用塩だれ1170g」及び本場関西仕込みの「ブルドック業務用串カツソース1185g」を発売し、業務用ソース市場の様々な需要に対応しました。業務用ユーザーの商品ニーズにスピーディーに対応した研究開発体制に再編し、組織的事業強化を図りました。

イカリソースでは、ウスター、中濃、とんかつソースの主力商品を、115年間の伝統の味を踏襲しながら、食生活のスタイルや嗜好の変化をとらえ、新しいこだわりのソースとして全面リニューアルし、発売しました。

その結果、売上高におきましては、対前年同期比2億5千7百万円増加し、85億8千9百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

営業利益におきましては、経営全般にわたる徹底した効率化等を実施した結果、対前年同期比2千1百万円増加し、5億6千3百万円（前年同期比4.0%増）、経常利益におきましては対前年同期比1千6百万円増加し、6億3千3百万円（前年同期比2.6%増）、四半期純利益におきましては、対前年同期比1億9千3百万円増加し、3億7千1百万円（前年同期比108.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億2千1百万円減少し、195億1千8百万円となりました。主なものは、流動資産では、現金及び預金が1億9千万円減少し、固定資産において、有形固定資産が2億7百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ5億8千9百万円減少し、50億1百万円となりました。主なものは、流動負債では支払手形及び買掛金が1億7千万円減少し、固定負債においては、長期借入金が3億1千万円減少したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億6千8百万円増加し、145億1千6百万円となりました。これは主に利益剰余金2億3千3百万円の増加などによるものです。これにより自己資本比率は、74.4%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億9千万円減少し、21億5千9百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億5千1百万円の収入（前年同四半期は、7億5千3百万円の収入）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額1億7千万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益5億7千1百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億6千1百万円の支出（前年同四半期は、4億2千6百万円の支出）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出2億1千6百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億7千9百万円の支出（前年同四半期は、1億3千8百万円の支出）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出3億1千万円及び配当金の支払額1億2千8百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年7月29日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,375	2,184
受取手形及び売掛金	4,214	4,105
商品及び製品	364	452
原材料及び貯蔵品	99	89
仕掛品	24	18
繰延税金資産	259	259
その他	55	76
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,393	7,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,196	2,118
機械装置及び運搬具（純額）	1,216	1,099
土地	2,711	2,711
その他（純額）	81	68
有形固定資産合計	6,204	5,997
無形固定資産	73	65
投資その他の資産		
投資有価証券	5,341	5,326
繰延税金資産	386	401
その他	573	575
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	6,268	6,269
固定資産合計	12,546	12,332
資産合計	19,940	19,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,646	1,476
1年内返済予定の長期借入金	310	310
未払法人税等	20	203
未払費用	1,046	887
賞与引当金	212	202
その他	268	125
流動負債合計	3,505	3,203
固定負債		
長期借入金	1,090	780
退職給付引当金	802	832
長期未払金	173	166
その他	21	19
固定負債合計	2,086	1,798
負債合計	5,591	5,001
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,139	11,372
自己株式	△394	△434
株主資本合計	14,354	14,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	△30
その他の包括利益累計額合計	△5	△30
純資産合計	14,348	14,516
負債純資産合計	19,940	19,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,332	8,589
売上原価	3,939	4,054
売上総利益	4,392	4,535
販売費及び一般管理費	3,850	3,971
営業利益	541	563
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	84	79
投資有価証券売却益	3	—
その他	5	4
営業外収益合計	93	84
営業外費用		
支払利息	17	14
その他	0	0
営業外費用合計	18	15
経常利益	616	633
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	16	9
投資有価証券評価損	346	20
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4	—
災害による損失	—	28
その他	1	3
特別損失合計	368	61
税金等調整前四半期純利益	248	571
法人税、住民税及び事業税	70	200
法人税等合計	70	200
少数株主損益調整前四半期純利益	178	371
少数株主利益	—	—
四半期純利益	178	371

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	178	371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262	△24
その他の包括利益合計	△262	△24
四半期包括利益	△84	347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84	347
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	248	571
減価償却費	252	269
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	△10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	51	29
受取利息及び受取配当金	△84	△80
支払利息	17	14
固定資産除売却損益 (△は益)	16	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	346	20
売上債権の増減額 (△は増加)	179	109
たな卸資産の増減額 (△は増加)	26	△71
仕入債務の増減額 (△は減少)	△150	△170
未払費用の増減額 (△は減少)	△116	△141
その他	△64	△29
小計	719	520
利息及び配当金の受取額	84	80
利息の支払額	△32	△32
法人税等の支払額	△26	△26
法人税等の還付額	9	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	753	551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△302	△216
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△169	△44
投資有価証券の売却による収入	35	1
貸付金の回収による収入	21	0
その他	△11	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△310
自己株式の取得による支出	△0	△40
配当金の支払額	△137	△128
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	188	△190
現金及び現金同等物の期首残高	1,953	2,350
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,142	2,159

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは、ソース類の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。